美術科（図画工作）学習指導案（例）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和○年○月○日○曜日　　 　　　 　第○校時　○時○分～○時○分

　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　○年○組　○名

　　　　　　　　 　　　　　指導者　○○　○○

１　題材名

題材の入り口。どんな活動を通して、どんなことが学べるのかが分かる題材名にする。「焼き物をつくろう」→「おもてなしの器をつくろう」

２　題材の目標

* （知識及び技能）

本題材を通して児童生徒に身に付けさせたい力を指導者の立場で記述。「～できるようにする」等

* （思考力、判断力、表現力等）
* （学びに向かう力、人間性等）

３　題材設定の理由

（１）教材観

　　○題材の本質的な部分、特徴、題材としての価値、付加価値について述べる。

　　　・本題材でのねらいや、取り扱う意義や扱うことで得られる学習効果。

　　　・本題材が、指導するクラスの児童生徒に適していると考える根拠。

（２）学習者観（児童生徒観）

　　○学級の児童生徒の本題材に関係する分野についてのレディネスや学習状況。

・これまでの美術の学習や日常での観察、アンケート等に基づいて記述。

・美術の授業に対して、どのような態度で臨むことができているか、どれだけの表現の力や鑑賞の能力を身に付けているか。また、どのような能力や態度を身に付ける必要があるか。

（３）指導観

　　○本題材で目指す力を身に付けさせるための指導の手立て、工夫を書く。

・指導法や制作の上の技法や素材、学習形態等の工夫によってどんな力が身に付く（できるようになる）と考えられるか。

　　　・制作途中での見直しや、完成作品の活用、展示の工夫、指導者や児童生徒による相互評価によって得られる学習効果。

４　題材の評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 「知識」について  ・文末は、学習の状況を評価す  　ることを踏まえて「～してい  る」とする。  「技能」について  ・文末は、学習の状況を評価す  　ることを踏まえて「～している」とする。 | ・文末は、学習の状況を評価することを踏まえて「～している」とする。 | ・文末は、学習状況を評価することや児童の意志的な側面も評価することから「～しようとしている」とする。 |

５　指導と評価の計画　（総時数●時間）

【　小学校　図画工作例　】

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **時** | **学習活動** | **知識・技能** | | **思考・判断・表現** | | **主体的に学習に取り組む態度** | **評価の方法** |
| 知識 | 技能 | 発想や  構想 | 鑑賞 |
| １ | ・のこぎりの使い方を知り、木をいろいろな長さや形に工夫して切る。  ・のこぎりを適切に扱う。 | 知 | 技 |  |  |  | 【観察】 |
| ２ |  |  |  |  | 態 |
| ３ | ・切った（木片）を並べたり組み合わせたりしながら、表したいことを見付け、どのように表すかについて考える。 |  |  | 発 |  |  | 【観察】  【対話】  【作品】 |
| ４ |  |  | 発 |  |  |
| ５ | ・さらに木を切って組み合わせるなどしながら、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。  ・作品カードに自分の作品のよさや面白さ、表し方の工夫などについて書く。 | 知 | 技 |  |  |  | 【観察】  【対話】  【作品】 |
| ６ | ・自分たちの作品を見て、感じ取ったり考えたりしたことを友人と話し合いながら、自分の見方や感じ方を広げる。 |  |  |  | 鑑 | 態 | 【観察】  【対話】  【作品】  【作品カード】 |

【　中学校　美術例　】

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **時** | **学習活動** | **知識・技能** | | **思考・判断・表現** | | **主体的に学習に取り組む態度** | **評価の方法** |
| 知識 | 技能 | 発想や  構想 | 鑑賞 |
| １ | ・「花」がテーマの作品を鑑賞し、作者の意図や表し方などについて意見を述べ合いながら、主題と表現の工夫との関係について考え、形や色彩などが感情にもたらす効果や全体のイメージで捉えることを理解する。  ・花を選んだ理由を考え、花や葉の形や色彩の特徴などから感じたことなどを言葉で書き表しながら、主題を生み出す。  ・主題を基に、画面全体と花や葉との関係を考え、創造的な構成を工夫し構想を練る。 | 知 |  |  |  |  | 【ワークシート】  【発言の内容】  【活動の様子】  【アイデアスケッチ】 |
| ２ |  |  | 発 |  | 態 |
| ３ | 知 |  |  |  |  |
| ４ | ・形や色彩などが感情にもたらす効果などを考えながら、自己の構想に基づき、筆致や濃度等を変え、様々な表し方を試す。  ・自分の意図に応じて、水彩絵の具や筆などの使い方を工夫して表す。また、制作の途中に鑑賞を行い、他者の作品を見たり自分の意図を説明したりすることで、より表したいものを明確にしていくなどしながら作品を完成させる。 |  | 技 |  |  |  | 【試作の作品】  【活動の様子】  【制作途中の作品】  【完成作品】 |
| ５ |  |  | 発 |  | 態 |
| ６ |  | 技 |  |  |  |
| ７ | ・お互いの完成作品を鑑賞し、作品から感じたことや考えたことを説明し合う。  ・第一次とは異なる「花」をテーマにした作家の作品を鑑賞し、作品の主題と表現の関係や意図と工夫などについて自分の活動した体験から、新たな見方や感じ方を広げる。 |  |  |  | 鑑  鑑 | 態  態 | 【ワークシート】  【発言の内容】  【活動の様子】 |

※□児童生徒の学習状況を把握して指導に生かす。　　　全員の学習状況を把握し、記録に残す。

６　本 時 案

（１）　題　目：（例）切った木を組み合わせて　※その時間に学習する内容を端的に示す。

（２）　本時のねらい

この１時間で、①どのような学習を通して、②児童生徒にどのような内容を学ばせ、③どのような資質・能力を育成することを目指すのかを指導者の立場で書く。

（３）　展　開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学　習　活　動 | 時間 | 指　　　　導 | ●評価規準・【評価方法】 |
| １  ※児童生徒の学習活動  『～する。』 |  | ○  ・  ※教師の活動は『～する。』  児童生徒に対する指示は  『～させる。』 | ①評価規準・評価方法を書く。  ※評価項目は１単位時間に１～２項目が現実的。  （多すぎても評価できない）  ②学習形態や資料等についても書く。 |

１時間の流れのなかで、ねらいと学習活動、指導、評価規準に整合性があるか？

※「題材の評価規準」や「指導と評価の計画」「本時案の展開」等の様式は学校や研究会に合わせてアレンジしてよいが、以下のことに留意して作成すること。

　①指導内容が「題材の目標」や「題目」を実現するための手立てになっているか。

　②指導したことを評価する形で評価規準が設定されているか。